

人や自然にやさしいエコガーデンをめざして

— 市民がつくる市民のための地域環境情報誌 —

エコライフみしま

未来へつなぐ 環境先進都市・三島
みんな育て



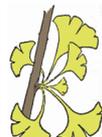
第35号

2020/5/1

知っていますか？



市の鳥「カワセミ」



市の木「イチョウ」



市の花「三島桜」

- 特集「ぼくたちわたしたちの環境活動」・・・P2、P3
- 環境活動紹介(北上えこくらの環境活動)・・・P4

ぼくたちわたしたちの環境活動

オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、
あなたは知らないでしょう。

死んだ川にどうやってサケを呼びもどすのか、
あなたは知らないでしょう。

絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか、
あなたは知らないでしょう。

そして、今や砂漠となってしまった場所に
どうやって森をよみがえらせるのか、
あなたは知らないでしょう。

どうやって直すのかわからないものを、
こわしつづけるのはもうやめてください。



現在、スウェーデンの環境活動家である17歳のグretaさんが注目されていますが、1992年6月11日ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された「地球環境サミット」で、セヴァン・カリス=スズキさんが世界各国のリーダーを前にスピーチを行いました。上記に掲載したメッセージはその一部です。

クイズ：表紙に掲載されているセヴァン・カリス=スズキさんがスピーチを行ったときの年齢は何歳
でしょうか。

- ①52歳 ②32歳 ③12歳

～答えはP3へ～

環境への意識を育てていくためには、幼児期からの環境教育が大切です。

三島市では、幼児には「環境への意識の芽生え」を、小学生には「行動意欲の醸成」を、中学生には「自発的行動の誘導」を、高校生以上の市民には「リーダー性の発揮」を掲げ、各世代に応じて段階的に発展していく環境教育の推進に努めています。

「エコライフみしま」第35号は、三島市で行っている子どもたちの環境活



ちの環境活動について
特集します。



小学生環境探偵団

★内容

市内14校の4年生から6年生の児童を対象に、平成12年度より開始し、累計830人が参加しています。



※令和元年度は、7月初旬〜8月下旬に実施し、参加人数は40人

- 1 発足式
- 2 箱根接待茶屋の森の散策、源兵衛川の水生生物観察会
- 3 富士山の自然観察
- 4 東伊豆町風力発電所 伊東市奥野タムの見学
- 5 エコセンターでのエネルギー体験
- 6 修了式

★感想

※壁新聞にある感想の一部を掲載

・富士山には小さな穴が開いている岩がいっぱい転がっていたから少し歩きにくかった。これからも富士山を大切にしたいと思った。

・奥野タムは川の水を一定量にするこ



とできてほしいと思った。



・風車の役割を知って節電しようと思った。

小学生環境読本

★目的

小学生の環境意識の向上及び環境活動の実践を促し、学校教育における環境教育を補完する教材です。

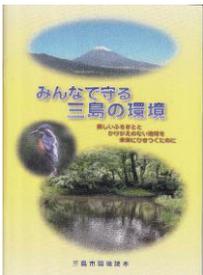
環境読本を活用して計画的な授業を実践し、環境保全の重要性について認識を図っています。

★内容

「まち・自然・水・空気・ごみ・地球環境・環境への取組み」などの項目に分かれていて、三島市の環境についての資料集となっています。

毎年、統計数値等を更新し、市内小学校の新4年生に配付しています。ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

また、表紙のスピーチは、環境読本の裏表紙に掲載されています。



ENVIRONMENTAL CHALLENGE KIDS

★内容

小学校中高学年の子どもたちが、家庭でエネルギー使用量を調べ、家族と一緒に自らが考えたエコ生活に取り組みます。静岡県、静岡県地球温暖化防止活動推進センター、



小学校及び三島市が連携・協力して実施しています。

★学校での取り組み

自転車発電などのワークショップを行い、子どもたちに地球温暖化について知ってもらうとともに、地球温暖化を防ぐために自分たちにできることがたくさんあることに気づいてもらいます。

★活動のまとめ

家庭での取り組みの結果発表やエコリーダー認定証の授与を行います。



中学生環境リーダー研修

★内容

これからの学校生活における環境保全活動のリーダーを養成するため、平成13年度より開始し、累計398人が参加しています。

※令和元年度は7月下旬～8月下旬に実施し、参加人数は16人

1 本研修（2泊3日）

【1日目】

・静岡県水産技術研究所富士養鱒場の見学、富士山五合目自然の講話

【2日目】

・河口湖フィールドセンター
船津胎内樹型・周辺樹海の散策など



【3日目】

・富士山御殿場口での植樹体験

2 研修報告

★環境行動宣言

研修生一人ひとりが、今後自ら取り組む環境保全のための行動を宣言します。



★環境行動宣言例

・環境問題への理解を深めるイベントに参加します。

・節電節水を心掛けます。学校で、リサイクル活動の活発化や環境について考える会の開催を提案します。

※約3か月後の環境行動宣言の
実行率93.3%

幼稚園・保育園の緑のカーテン

★緑のカーテンとは

夏の日よけや葉の蒸散作用により冷房効果があります。三島市では、緑のカーテン用種子の無料配布のほかに、緑のカーテンコンテストを7月上旬から8月中旬に実施しています。応募部門として、個人の部、団体の部、幼稚園・保育園の部があり、多くの園が応募しています。

★南幼稚園の緑のカーテン

緑のカーテンコンテストに参加した市立南幼稚園では、『プランター9個にゴーヤの苗18株を植えました。毎日園児が水やりを十分に行い、土の上に笹の葉を置いて乾燥を防ぐようにしました。保育室前や和室の日よけとして植えたので、緑のカーテンとなり、見た目が涼しく感じました。日



陰ができて体感温度も下がったように思います。ゴーヤの実もたくさん収穫され、預かり保育を利用して幼児が持ち帰ることもでき、夏の味覚を味わいました。』

幼児環境教育推進プロジェクト

★幼児環境教育推進プロジェクトとは

幼児期からの環境教育の重要性を考慮し、幼児環境教育の幼保一元化を図るため、平成15年度より幼児環境教育推進プロジェクトチームを結成し、幼児環境教育におけるプログラムや教材等の研究・開発を進めています。

★実績

1 手作り環境教育教材の研究・開発
環境はめ絵、環境マップ「子どもと自然ふれあいマップ」などを作成しています。

2 園児参加型プログラムの実施
自然観察や水生生物観察などを行っています。

環境はめ絵

箱根西麓の山林の間伐材を活用して、板に書いた絵を切り抜き、その絵をはめる遊び



子どもと自然ふれあいマップ



幼児環境教育推進プロジェクトメンバーがお勧めする、子どもが自然などと触れ合える場所を集めた環境マップを作成しています。市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

水の苑緑地、中郷温水池など市内12カ所について、木の実拾いができる、草花が咲く、虫捕りができる、魚がいるなどの情報を得ることができます。



中郷温水池

③ 表紙のクイズの答え
12歳

北上えこくらぶ（北上地区エコリーダー）の活動紹介

北上えこくらぶは「ちょっぴりエコ、楽しくエコ」を合言葉に、沢地川沿いの花壇づくりや、北上文化プラザでの環境講座の実施といった、地域に根付いた環境活動を行っています。

令和元年度は園児との自然観察会や北上地区の散策も実施し、地域の自然環境の再発見もしました。

沢地川沿い花壇の整備



毎月第1日曜日は地域花壇づくり作業

沢地幼稚園児と球根の植え付けで交流

環境講座



公民館や自治会などでの出前講座でソーラークッカー、廃食用油を使ったキャンドルや石けん作りなど家庭でできるエコを啓発

自然観察会



散策で地域の自然環境を再発見

地域の幼稚園や保育園の自然観察会の講師としても活躍中

沢地川清掃



毎年1回、沢地川でビニールごみを中心に清掃活動を実施し、マイクロプラスチックの削減に貢献

令和2年度も様々な活動の実施を予定しています。自分たちができることを続け、エコの環を繋げます！皆さんも地域での環境活動に参加しませんか。お問い合わせは下記、環境政策課へ。

【編集後記】

環境問題は「無理せずに」とか「一人一人が出来ることを」などと言われがちですが、物事を大きく改善させるには、やはりルールや仕組みを変えることが必須だと思います。そこから自然と個人の意識も変わるのではないのでしょうか。（ほ）

【編集スタッフ（市民ボランティア）】 青木博・飯田喜一・大村洋子・柴原俊介・武井功・西名秀芳・堀江紗代・山本京二

一緒に『エコライフみしま』を作りませんか。ご興味のある方は、環境政策課までご連絡ください。

第35号（5月・10月の年2回発行）

令和2年5月1日発行

〒411-0858 静岡県三島市中央町 5-5

三島市役所中央町別館

環境政策課内

「エコライフみしま」編集事務局

TEL:055-983-2647 FAX:055-976-8728

E-mail:kankyoku@city.mishima.shizuoka.jp